

令和7年8月18日

ご門信徒様

光照寺運営委員会

お盆合同法要の御報告

8月13日(水)、14日(木)、15日(金)にお盆合同法要(3日間・計3法座)を、延べ180数名の皆様にご参拝いただき、無事に勤める事が出来ました。これもひとえに、御門信徒様並びに有縁の皆様方の御懇志の賜だと厚く御礼申し上げます。

また、法要前の準備、法要当日の運営にご協力いただいた御門信徒様並びに有縁の皆様方に対して、重ねて心より謝意を申し上げます。

御門信徒の皆様から賜りましたご浄財は、標記の会計収支の通り対応致しましたのでご報告します。

なお、今年のこれからの光照寺での仏事・行事に際しまして、精進していく所存です。老若男女問わず、又御門信徒様の有無に関わらず、一人でも多くの皆様にご参拝いただきますよう、よろしくお願い致します。

記

収入	支出
志納金 596,000 円	
(121 名) 8 月 18 日 時点	諸雑費 20,527 円
合 計 596,000 円	合 計 20,527 円

* 収支の残高 575,473 円は、今後の寺院活動に活用させていただきます。

以上

* 光照寺に関する行事等のご案内・ご報告は**光照寺 HP 下記 URL・QR コード**にてご覧頂けます。

URL	https://koushouji-moji.sakura.ne.jp
QR コード	

お盆合同法要報告

～世代を超えて、ご先祖の仏様から、私につながるいのちを感じませんか～

日時：令和 7 年 8 月 13 日（水） 10 時半

14 日（木） 10 時半

15 日（金） 10 時半

場所：光照寺

講師：住職自勤

スケジュール お勤め 正信偈 ご法話 お焼香

喚
鐘
の
様
子



ご法話の一部を掲載

私たちが生まれ、生きているということは、ご先祖から命や生き方が、継承されてきたからです。そして子孫へ、継承されて行く可能性があります。その命を私は、生きている時だけ楽しければ(今だけ)、そして子や孫のことは関係ない(私だけ)と考えるとしたら、死は不幸だと捉えそうです。私たちは、不幸になるために生まれてきたのでしょうか。

自分の死は、自分自身では感じられません。私たちは、大切な方との別れを通して死を感じます。

『東本願寺法語行灯』 人は出会いによって育てられ 人生は別れによって深められる

出会った意味を本当に味わうのは、出会うことが出来なくなってからかもしれません。失ってから

記 住職 濱寄 重信

でも、出会ったものの存在の大きさや大切さを味わうことが、大事なのでは？肉体を失っても次の人の中で、大切な人の心は、生き続けているのかもしれない。

人は、自分のことを大切に思ってくれる人がいることに気づいた時、真の喜びを感じるのではないのでしょうか。大切に思ってくれるとは、本当のことを教えてくれることでは？本当のこととは、**大事な命をどう生きるのか。**

そのことが、この私にまで語り継がれていると思います。その声を聞くことは、私がどう生きるのかを問いながら大事に生きることであり、次の人に大事な命をどう生きるのかというメッセージを託すことでもあります。その声を聞きませんか。



進行の説明



法話の様子



納骨壇でのお焼香の様子